



【目次】

- 1 たけやま 3.5 出演！避難行動啓発動画を制作しました！！
- 2 えひめ自助・共助推進フェアを開催しました！
- 3 シェイクアウトえひめに過去最高の35万4千人が参加！
- 4 県の防災アプリ、メール、SNSで防災情報をいち早くゲット！
- 5 停電に備えましょう！
- 6 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

【1】たけやま 3.5 出演！避難行動啓発動画を制作しました！！

平成30年の西日本豪雨では、浸水や土砂崩れが発生しましたが、自主防災組織等を中心に適切な住民避難を行った事例が報告されています。一方で、行政の避難情報や気象庁の防災気象情報が困難で分かりにくいという課題が報告されています。

そこで、住民の皆さんが、「自助・共助」の意識を高め、**気象災害から命を守るための適切な避難行動につなげることができるよう**、気象情報や避難情報の内容を理解しどのような行動を起こせばよいか、また、災害時に共助の中心的役割を果たす自主防災組織について、**ビジュアル的に分かりやすく紹介した動画を制作しました**。

【1】知識編「避難行動啓発」

①出演者

- 木原 実さん（気象予報士）
- たけやま 3.5 の皆さん

②シナリオ

- 豪雨を知ろう
- 危険を知ろう
- 気象情報を知ろう
- 避難の方法を知ろう
- 日頃から備えよう



閲覧先（YouTube）

https://www.youtube.com/watch?v=g_2rYHh17mI

(2) 活動編「自主防災組織活動」

①出演者

- 木原 実さん
- たけやま 3.5の皆さん

②シナリオ

- 自主防災組織とは
- 各地域での自主防災活動
 - ・大洲市三善地区
 - ・松山市高浜地区



閲覧先 (YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=80-6qCuoF5Y>

(3) 小学生向け

①出演者

- みきやん
- そらジロー
- たけやま 3.5の皆さん

②シナリオ

- 豪雨を知ろう
- 避難しよう
- 普段から備えよう



閲覧先 (YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=fMGPpWILF0>

【2】えひめ自助・共助推進フェアを開催しました！

県では、県民の防災に関する関心と理解を深め、自助・共助の一層の促進を図るため、えひめ防災週間（12月17日～23日）中の12月18日（水）に**えひめ自助・共助推進フェア**を開催しました。

県内の自主防災組織関係者や防災士など約1,100人が参加したフェアの内容を報告します！

○えひめ自助・共助推進フェアについて

【日時】令和元年12月18日（水）

10：00～17：00

※ステージイベント 13：00～16：30

【会場】松山市総合コミュニティセンター

（カメラホール、コミュニティプラザ、正面広場）



同フェアでは、災害から自分や家族、地域を守るために、自分の安全は自分で守る「自助」と、地域において互いに助け合う「共助」の果たす役割の大切さについて改めて考えてもらう機会として、漫才師／おおふなと復興応援特別大使である宮川大助さんをメイン講師に、「備えあればうれいなし 宮川ファミリーの防災知恵袋」と題した記念講演や、西日本豪雨災害を踏まえた地域における防災活動の取組事例として、日本防災士会愛媛県支部中予地区ブロック長の兵頭和夫さん、松山市高浜地区自主防災連合会会長の蔭原政徳さんによる事例発表を行いました。

また、防災機関関係者や大学生などによる「西日本豪雨災害を教訓に巨大地震に備える」と題したパネルディスカッションを行ったほか、会場となった松山市総合コミュニティセンター内のコミュニティプラザでは企業や団体による**防災展示ブース**を開設し、屋外のセンター正面広場では地震体験車や降雨体験車、土石流3Dシアターを展示した**体験ブース**も設置しました。

▼活動事例発表

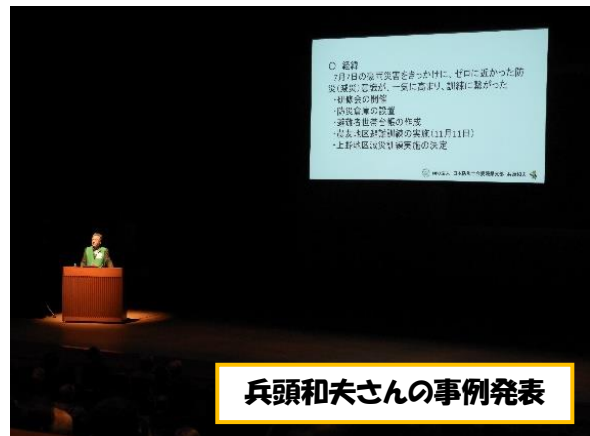
◇日本防災士会愛媛県支部

中予地区ブロック長 兵頭和夫さん

「西日本豪雨を受け、実施した訓練～

“いのちのカード”とともに…」

兵頭さんの出身地である野村町の上野地区で、西日本豪雨を踏まえ南海トラフ地震を念頭に実施した、炊き出し訓練や避難、救護訓練等の取組、さらに、既往症やかかりつけ病院等の情報を記載した「いのちのカード」の取組について紹介しました。



兵頭和夫さんの事例発表

◇松山市高浜地区自主防災連合会

会長 蔭原政徳さん

「西日本豪雨を受け、避難向上への取組～」

日頃から、活発に自主防災組織活動を行っている同地区は、西日本豪雨では土砂災害が発生したにもかかわらず、適切な避難行動で大きな人的被害は食い止めることができました。西日本豪雨災害以降に強化した自助・共助の取組について紹介しました。



蔭原政徳さんの事例発表

▼記念講演

【演題】備えあればうれいなし 宮川ファミリーの防災知恵袋

記念講演では、漫才師でおおふなと復興応援特別大使でもある宮川大助さんと長女のさゆみさん、弟子の隼人さんによる熱のこもった講演となりました。東日本大震災の発生直後から、救援物資を被災地に届けるなどの支援に取組み、現地への慰問は100回以上にもおよび、「おおふなと復興応援特別大使」に任命されている大助氏自身が、被災地で見聞きした防災の知恵を楽しくまじめに紹介しました。



▼パネルディスカッション

【テーマ】西日本豪雨災害を教訓に

南海トラフ巨大地震に備える

パネルディスカッションでは、西日本豪雨災害における支援活動を踏まえ、今後の改善点を話し合いました。

〈コーディネータ〉

愛媛大学防災情報研究センター准教授 二神透さん

〈パネリスト〉

日本防災士会愛媛県支部副支部長 小國恵子さん

公益社団法人愛媛県栄養士会常任理事 森木陽子さん

愛媛大学防災リーダークラブ 松田さらさん

松山市高浜地区自主防災連合会会長 蔭原政徳さん

日本防災士会愛媛県支部副支部長の小國恵子さんは、西日本豪雨災害において、避難所をくまなく巡回した経験を踏まえ、女性の視点から防災のあり方を伝え、トイレ問題など多くの課題を投げかけました。

公益社団法人愛媛県栄養士会 任理事の森木陽子さんは、西日本豪雨災害を踏まえ、アレルギー患者や高齢者、慢性疾患患者等への支援、食の衛生問題について提起しました



愛媛大学防災リーダークラブの松田さらさん(愛大教育学部1回生)は、防災リーダークラブの一員として、様々なボランティア等に関わった経験を踏まえ、若者の視点から自助、共助について伝えました。

▼展示・体験ブース

防災情報に関する 11 の展示ブースと、降雨や地震の体験等ができる体験ブースを設置し、来館者も含め多くの方が参加されました。

展示ブースでは、**スタンプラリーを実施**し、所定のブースを訪問した場合は、**防災グッズ等の景品をプレゼント**しました。



また、**松山市立新玉小学校4年生 90人(3クラス)**が総合学習の授業で来場し、展示・体験ブースで防災について学習しました。



【3】シェイクアウトえひめに過去最高の35万4千人が参加！

地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、県民総ぐるみの地震防災訓練として、12月17日(火)11時から、県下一斉に実施した「シェイクアウトえひめ」は、昨年度を28,194人上回る**354,788人(2,124団体(者))**の参加により、**目標の35万人を達成**することができました！ありがとうございました！

当日は、県でも、関係団体を含めて約1万人が参加し、各庁舎等において1分間程度、机の下に隠れる等の安全確保行動をとるとともに、より実践的な訓練とするためのプラスワン訓練として、防災メールを利用した職員の安否確認操作訓練を実施したほか、伊予消防署の協力のもと、伊予くじら認定こども園において、避難訓練と併せてシェイクアウト訓練を実施しました。

また、市町においても、全ての市町が訓練に参加し、HPや広報紙への掲載等を通じて訓練への参加を呼び掛けるなど、県と市町が連携して、文字通り県民総ぐるみで訓練を実施しました。



【4】県の防災アプリ、メール、SNSで防災情報をいち早くゲット！

県内に対する防災情報をお手持ちの携帯電話やスマートフォン向けに提供しています。**どなたでもご利用いただけます**のでぜひご活用ください。



防災情報や避難ルートを多言語で、地図で視覚的に表示できる、県公式スマートフォンアプリです。

▼御提供する防災情報

地震・津波情報、気象注警報、土砂災害警戒情報、国民保護情報、市町からの避難勧告・指示情報や避難所開設情報など

▼地図で情報を表示できます

現在地周辺の施設やハザードマップ、市町の避難場所、避難所（開設したものを明示）、施設への参考ルート表示 など

▼利用の始め方 アプリストアからダウンロードしてインストール



または、「ひめシェルター」で検索

詳しくは、詳細ページ (<https://www.pref.ehime.jp/bosai/hime-shelter.html>) へ。



お手持ちの携帯電話やパソコンに電子メールで配信する、登録制メールサービスです。スマートフォンをお持ちでない方でもご利用いただけます。

▼利用の始め方

空メール (bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp) を送信し、自動返信されるメールから御登録ください。

(注意) 自動返信メールが届かない場合は、ドメイン名

「bousaimail.jp」からの URL 付きメールが受信できるよう、携帯電話の受信設定を確認・変更し、再度空メールを送信してください。

詳しくは、詳細ページ (<https://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>) へ。



空メール送信先
アドレスのQRコード

愛媛県防災SNSを開設しています！

県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報などの災害情報の他、防災啓発情報などを配信しています。



Twitter @EhimeBousai <https://twitter.com/EhimeBousai>

Facebook 愛媛県防災 <https://www.facebook.com/EhimeBousai>

▼注意事項

いずれも無料でご利用頂けますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。

▼お問合せ

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 防災情報係

TEL 089-912-2318

FAX 089-941-2160

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

【5】停電に備えましょう！

停電は地震や台風などの自然災害や様々な事故によって、全国各地で一年中発生する可能性があります。

身の安全を確保するため、日頃から突然の停電に備えましょう！

災害時の停電の際には、

①身の安全を確保するための対策

②家屋に危険な損壊等が発生していない場合に、停電していても過ごせるための対策が必要です。

①身の安全を確保するための対策として、

- 夜間に、出口が分からない、床の段差やガラスの破片などが見えないといった危険を防止するため、懐中電灯の備え
- 災害情報を確保するため、ラジオ等の備え



②停電していても家屋で過ごせるための対策として、

- 懐中電灯以外にも、ルームライトとしてランタンの備え
- 冷蔵庫や調理器具が使えない状態に備え、非常食やガスコンロの備え
- 冷暖房器具が使えない状態に備え、暖（涼）をとる手段（保冷剤や冷えピタ、冷感シート、水枕、使い捨てカイロ、アルミシート等）の備え
- 給水ポンプの停止による断水に備え、保存水の備蓄
- 携帯電話やスマートフォンのモバイルバッテリーの備え
- 医療機器を使用している場合は、予備バッテリー等の備え



などがあります。



<注意>

災害時に家を不在にする場合はブレーカーを切りましょう。不在時に電気が復旧した際に、スイッチを切っていなかった電気ストーブなどが再起動し、落下してきた布などから出火して火事になる危険性があります。

【6】県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

県では、みなさんの地域での防災に関する取組みを紹介し、自主防災組織の活性化を図りたいと考えています。

あなたの地域での防災の取組みなどについて、教えてください。

▼募集内容

- あなたの地域でのユニークな防災活動に関すること（人・防災訓練・自主防災組織など）
 - 自主防災組織の取組事例
 - こんな事で困っている、苦勞している点または質問 など
- ※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▼お問い合わせ、情報提供および本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 南海トラフ対策グループ

TEL 089-912-2325

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

▼愛媛県HPでの防災情報はこちら

えひめの防災・危機管理ホームページ↓

<https://www.pref.ehime.jp/bosai/index.html>

